

硫黄鳥島の火山活動解説資料（平成 28 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

活動概況（図 1～5）

27日に第十一管区海上保安本部が実施した上空からの観測では、特段の変化は認められませんでした（図 2）。グスク火口周辺や硫黄岳火口内では白色噴気が認められました（図 3、4）。

硫黄鳥島の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水が長さ約 700m、幅約 200m にわたって分布していました（図 5）。

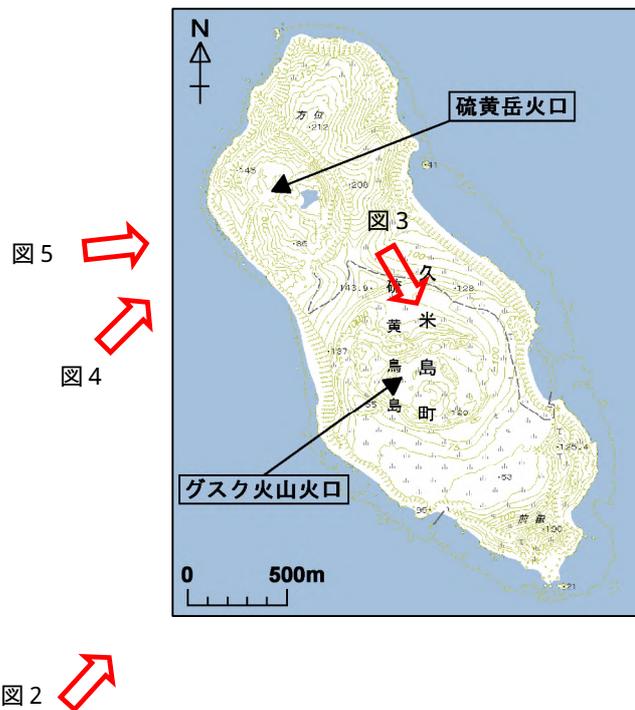


図 1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。



図2 硫黄鳥島 島内の状況(27日) (第十一管区海上保安本部提供)

- ・ 特段の変化は認められませんでした。



図3 硫黄鳥島 グスク火口北側火口壁(左)及びグスク火口(左)の噴気の状況(27日)

(第十一管区海上保安本部提供)

- ・ グスク火口北側火口壁及びグスク火口にそれぞれ白色噴気が認められました。



図4 硫黄鳥島 硫黄岳火口の噴気の様況(27日) (第十一管区海上保安本部提供)
・硫黄岳火口内の数カ所に白色噴気が認められました。



図5 硫黄鳥島 硫黄鳥島の南西方向へ拡大する変色水域(27日) (第十一管区海上保安本部提供)
・硫黄鳥島の西側海岸線に沿って薄い褐色の変色水が長さ約700m、幅約200mにわたって分布していました。